

# 京都府オリンピック・パラリンピック教育 推進事業の概要

Vol.3



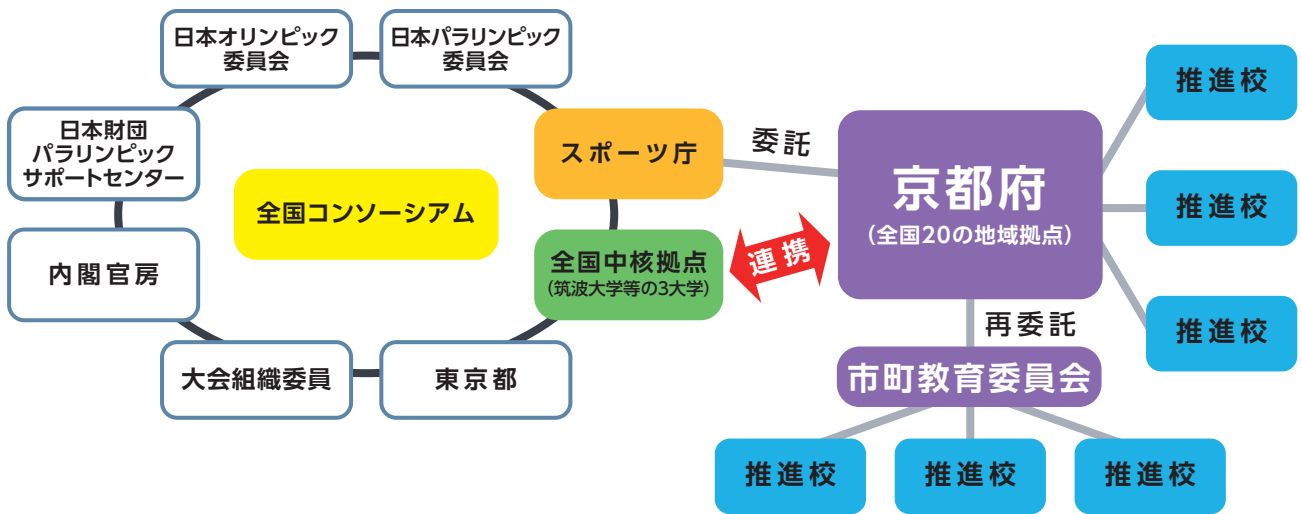
スポーツ庁委託

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

 京都府教育委員会

平成29年度、京都府教育委員会はスポーツ庁からの委託を受け、平成27年度からの取組で得た知見をもとに、より発展したオリンピック・パラリンピック教育の普及・推進に取り組みました。

事業の枠組



## スポーツの価値

- ◆スポーツは、精神的な充足感や楽しさ・喜びをもたらし、人々が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤である。
- ◆スポーツには、自己充実・自己変革を促す力、社会や世界を変える大きな力がある。

## オリンピック・パラリンピック教育の理念

### オリンピックの価値

〈国際オリンピック委員会 (IOC)〉

1. 「Excellence (卓越)」
2. 「Friendship (友情)」
3. 「Respect (敬意・尊重)」

### パラリンピックの価値

〈国際パラリンピック委員会 (IPC)〉

1. 「Courage (勇気)」
2. 「Determination (決意)」
3. 「Equality (平等)」
4. 「Inspiration (インスピレーション・鼓舞)」

## オリンピック・パラリンピック教育の意義

スポーツの価値の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に活躍できる人材を育成する

オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議より

# 府内全域への展開状況



パラリンピアンによる競技実演(高校)



オリンピック・パラリンピック資料コーナー(高校)



オリンピックをテーマにした集団演技(高校)



国際交流における京都案内(高校)



海外の高校生とのスポーツ交流(高校)



平昌冬季大会にあわせたオリンピック・パラリンピック給食(小学校)

## 平成29年度 推進校(45校)

### ◆小学校(4校)

京田辺市立新小学校  
木津川市立上狛小学校  
井手町立井手小学校  
井手町立多賀小学校

### ◆高等学校(21校)

京都府立鴨沂高等学校  
京都府立洛北高等学校  
京都府立鳥羽高等学校  
京都府立北嵯峨高等学校  
京都府立北桑田高等学校  
京都府立東稜高等学校  
京都府立洛水高等学校  
京都府立京都すばる高等学校  
京都府立乙訓高等学校  
京都府立西乙訓高等学校  
京都府立城陽高等学校  
京都府立西城陽高等学校  
京都府立京都八幡高等学校  
京都府立久御山高等学校  
京都府立田辺高等学校  
京都府立南丹高等学校  
京都府立須知高等学校  
京都府立綾部高等学校  
京都府立西舞鶴高等学校  
京都府立加悦谷高等学校  
京都府立網野高等学校

### ◆中学校(9校)

大山崎町立大山崎中学校  
木津川市立山城中学校  
井手町立泉ヶ丘中学校  
京丹波町立和知中学校  
京丹波町立瑞穂中学校  
綾部市立綾部中学校  
舞鶴市立白糸中学校  
宮津市立宮津中学校  
宮津市立栗田中学校

### ◆特別支援学校(11校)

京都府立盲学校  
京都府立聾学校  
京都府立向日が丘支援学校  
京都府立宇治支援学校  
京都府立城陽支援学校  
京都府立八幡支援学校  
京都府立南山城支援学校  
京都府立丹波支援学校  
京都府立中丹支援学校  
京都府立舞鶴支援学校  
京都府立与謝の海支援学校



※ ■黄字は平成27年度からの推進校  
■青字は平成28年度からの継続校  
■黒字は平成29年度からの新規推進校



ソフトボール部の交流(高校・特別支援学校)



サウンドテーブルテニスでの交流(中学校・特別支援学校)



交流へ向けた手話教室(高校)



シニア向け体操教室(高校)



ダウン症児者対象レスリング教室(高校)

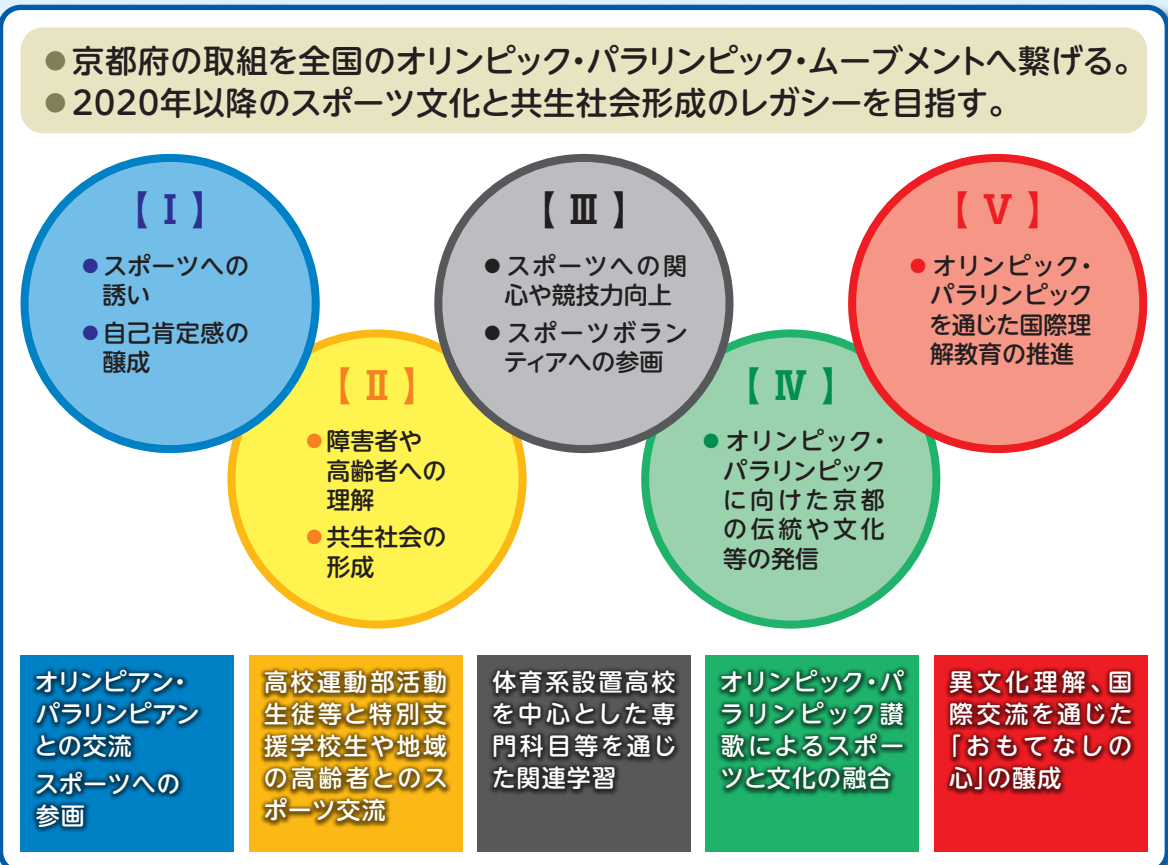


IPC公認教材「I'm POSSIBLE」の活用(小学校)

# 京都府における オリンピック・パラリンピック教育の推進



2021  
オリンピック・パラリンピック教育の推進において、「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人に豊かな「スポーツごころ」を育み、スポーツ文化の広がりにつなげる。



- 2018
- 事業概要のまとめ・報告書作成(3月)
  - 公開フォーラム「オリンピック・パラリンピック讃歌」(2月)
  - 事後ワークショップ(2月)
  - 推進校教員セミナー(7月)
  - 推進校の指定(6月～)
  - 推進校の公募(5月～)

2017  
スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2016  
筑波大学の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2015  
筑波大学の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」を実施

公開フォーラムの開催や推進校の取組紹介等で広く府民に発信する等、広報活動を推進

# 平成29年度推進校の主な取組

## スポーツへの誘い

### オリンピック・パラリンピックについての「学び」を発信する



- ・総合的な学習の時間や保健体育等で調べ学習を実施。IPC 公認教材「I'm POSSIBLE」等を活用。
- ・学習のまとめとして作成した壁新聞を廊下に掲示。
- ・授業や全校朝礼で成果発表会を実施。
- ・オリンピックを集団演技で表現。
- ・学びで気付いたオリンピック・パラリンピックの価値等を生徒間で共有。

【推進校】 新小学校、鳥羽高校、北嵯峨高校、東稜高校、乙訓高校、西城陽高校

### オリンピック・パラリンピアン等のトップアスリートと出会う



- ・講演、実技講習会等でオリンピックやパラリンピアン等のトップアスリートと交流。
- ・「さあやってみようというスポーツごころを育成」、「努力することの大切さを学び、そこから得られる自己肯定感を醸成」すること等がねらい。
- ・児童生徒を通じた家庭でのリバースエデュケーション効果も期待。
- ・これまでに出会ったアスリートの活躍についても引き続き関心がもてるような工夫も見られた。

#### 心に響いた言葉《生徒の感想文より》

「変わらない人は勝てない」(上山友裕氏)、「負けて初めてわかることもある。それは次に生かせる」(右代啓祐氏)、「やれば何でもできる」(寒川進氏)、「本当に夢を叶えたいと思えば行動が変わる」(大島祐哉氏)、「一つ一つできることを積み重ねて、大きな夢をつかんだ」(堀越信司氏)、「1日1回、感動を味わう」(山田秋親氏)



【推進校】 新小学校、井手小学校、多賀小学校、大山崎中学校、山城中学校、泉ヶ丘中学校、和知中学校、綾部中学校、白糸中学校、宮津中学校、栗田中学校、洛北高校、鳥羽高校、北桑田高校、洛水高校、乙訓高校、城陽高校、西城陽高校、久御山高校、田辺高校、南丹高校、綾部高校

### 特別支援学校におけるスポーツへの誘い・自己肯定感の醸成



- ・オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、今まで以上にスポーツに触れる機会や競技力を高める機会を積極的に創出。
- ・特別支援学校ポッチャ大会を開催。府内4校 16 チームが交流。
- ・各種の障害者スポーツ大会の他、地域のスポーツ大会にも出場。
- ・大会へ向けて高校運動部と合同練習。
- ・地域の大学とのスポーツ交流。
- ・特別支援学校小学部の児童と地域の小学校特別支援学級の児童がスポーツ交流。
- ・地域の小学校で「ポッチャ」広報活動。アダプテッドスポーツの普及。
- ・ゴールボール・パラリンピック日本代表合宿を見学。

【推進校】 盲学校、聾学校、向日が丘支援学校、宇治支援学校、城陽支援学校、八幡支援学校、南山城支援学校、丹波支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校、与謝の海支援学校

#### 《生徒の感想文より ～アスリートとの出会い～》

- 自分の弱いところを指摘されているようで、すごくなった。人生で壁にぶつかることは、これから何度もあると思う。その時に今回聞いたことを糧にして頑張っていきたい。
- 何気なく過ごしている「今」というものがどれほど大切なのか、将来にどれだけ大きく影響してくるのかということがわかりました。



# 共生社会の形成

## パラリンピック種目等の多様な競技に挑戦する



- ・ 小学校、中学校、高校において、パラリンピック種目をはじめとしたアダプテッドスポーツ等、障害の有無等にかかわらず誰もが共に楽しめる多様な競技に挑戦。
- ・ 多様な競技に親しむことで、「スポーツ志向やパラリンピックへの関心を高めること」、「共生社会の在り方を考えること」等がねらい。
- ・ 児童生徒がアダプテッドスポーツを直接体験することで、その魅力や価値を「からだ」と「こころ」で理解することができた。

### 主な体験競技

車いすバスケットボール、車いすフェンシング、ゴールボール、シットイングバレーボール、卓球バレー、ドッジビー、フライングディスク、ブラインドサッカー、ペタンク、ボッチャ

【推進校】 上粕小学校、井手小学校、多賀小学校、山城中学校、和知中学校、栗田中学校、西乙訓高校、京都八幡高校、田辺高校、加悦谷高校

## 小中高生と特別支援学校生がスポーツでつながる



- ・ 高校生と特別支援学校高等部生でスタートした交流が、より広がり、より充実。
- ・ 「障害の有無にかかわらず、様々な人々とのスポーツ交流を通して、他者を理解・尊重する資質や能力を身に付け、共生社会の実現を目指すこと」、「オリンピック・パラリンピックをはじめとするスポーツの価値や効果を理解し、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てること」等がねらい。
- ・ 一つの競技をとおして「相手の良さ」を知り「互いを思いやり、尊重し合う」等、相互理解や尊重の態度が随所に見られた。
- ・ アダプテッドスポーツでは特別支援学校生が積極的に教える姿が見られた。
- ・ 継続して交流している学校間では、生徒がより主体的に活動。
- ・ パラリンピック種目であるボッチャ、卓球の他、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、フライングディスク、ドッジビー、サウンドテーブルテニス、卓球バレー、ころがし卓球等で交流。
- ・ 部活動交流では陸上競技、ソフトボール、卓球で交流。



【推進校】 北嵯峨高校、乙訓高校、西乙訓高校、京都八幡高校、綾部高校、西舞鶴高校、加悦谷高校、盲学校、聾学校、向日が丘支援学校、宇治支援学校、八幡支援学校、南山城支援学校、丹波支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校、与謝の海支援学校

## 世代を越えてスポーツでつながる



- ・ 高校生が高齢者に運動指導を行う「シニア向け体操教室」を実施。高齢者向けにアレンジした学校オリジナルの体操等を指導。高齢者が多い地域の活性化やスポーツ文化の広がりにも寄与する意識が高まった。
- ・ 高校生が地域の小学校を訪問し、体づくり運動、陸上競技、ハンドボール等を指導。運動会でのボランティアも行った。小学生の喜ぶ姿が高校生の充実感や達成感につながった。
- ・ 取組を継続することで、次回の交流をよりよいものにしようとする高校生の意識の高まりがみられた。交流した高齢者や小学生も継続を期待。

【推進校】 北嵯峨高校、久御山高校、須知高校、西舞鶴高校、網野高校

# スポーツへの関心向上・スポーツボランティアへの参画 ～体育系設置高校を中心に～

## 卒業生トップアスリート等による講演や実技指導



- ・体育系設置高校では、競技への関心を高め、競技力の向上を図るとともに、スポーツをとおしてグローバルな活躍ができる人材を育成すること等をねらいとして、オリンピック・パラリンピックやその他の世界大会に出場したトップアスリートによる講演や実技指導を実施。
- ・体育系設置高校6校が一同に会した講演会では、リオデジャネイロオリンピック水球競技出場の筈井翔太氏（鳥羽高校出身）を講師に招き、先輩の経験談等から自分の「今」、そして「将来」を考えた。

【推進校】 洛北高校、鳥羽高校、乙訓高校、西城陽高校、久御山高校、綾部高校

## 京都府立高等学校体育系設置校による研究発表大会



- ・体育系設置高校の代表による運動やスポーツをテーマとした研究発表。自ら設定したテーマに沿って、実験や調査を繰り返し、考察を深めた成果を発表。主体的、対話的で深い学びを実現。
- ・自らのスポーツ経験を踏まえ、多様な視点から競技力の向上やスポーツの在り方等について考えた。
- ・会場には、各校がオリンピック・パラリンピック教育における取組のまとめをパネル展示し、成果を共有。

【推進校】 洛北高校、鳥羽高校、乙訓高校、西城陽高校、久御山高校、綾部高校

## 国際理解

### 交流から体験的に学ぶ



- ・「より良い国際交流、文化発信、ホスピタリティの在り方について考えること」等がねらい。
- ・日本への留学生や海外の高校生とスポーツ、文化、和食調理、観光案内等、多様な交流。
- ・身近な京都の点景を撮影。コメントや解説を入れたアルバムを作成。京都の魅力の発信を考えた。
- ・JICAの青年海外協力隊を経験した卒業生による講演会を実施。

【推進校】 泉ヶ丘中学校、鴨沂高校、西乙訓高校

### ホストタウンの中高生が学ぶ



- ・「オリンピック・パラリンピックを直接的・間接的に支える人材を育てること」、「異文化を理解し、日本を訪れる人々におもてなしの心を持って接することができる人材を育てること」等がねらい。
- ・ホストタウンの生徒が相互交流に向けて相手国・地域の歴史、文化等を学んだ。
- ・「なぜ英語を学ぶのか」の視点から異文化理解について考えた。
- ・地域スポーツ大会運営や地域清掃のボランティア活動に参画。

【推進校】 瑞穂中学校、白糸中学校、須知高校

### 「おもてなし」を考える



- ・異なる価値観や文化に対する理解を深めた上で、グローバル社会における「おもてなしの心」を醸成することがねらい。
- ・元日本航空CAで現筑波大学客員教授の江上いずみ氏の講演を実施。「おもてなし」をキーワードにコミュニケーションの心がけについて考えた。
- ・感想文には「おもてなしは、サービスとは異なるいい文化だと思いました」、「京都にお見えになる皆さんの満足度を高めるおもてなしをしたい」等の思いが記されていた。
- ・講演後、「心づかいの極意」を意識する生徒の様子が見られた。

【推進校】 瑞穂中学校、京都すばる高校

# オリンピック・パラリンピック讃歌

## 古典和歌と現代短歌の創作を通じた、京都ならではのスポーツと文化の融合



### ○専門家による作歌指導や選考

#### 【古典和歌の部】

古来より受け継がれてきた冷泉流の和歌を冷泉貴実子氏から学び、「梅香」を兼題とした和歌を創作し、生命の躍動を日本の伝統的な季節感、美意識に則って表現した。(推進校：鳥羽高校)

#### 【現代短歌の部】

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに文化の祭典でもある。  
2020年に開催される東京大会の成功に向けた気運を醸成し、京都からスポーツと文化を融合させた取組を全国に発信するため、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から表現した短歌を広く京都府内の高校・特別支援学校(高等部)の生徒から募集した。  
今年度は、2,550名、3,762首の応募があり、細胞生物学研究者で、京都大学特任教授でもある、歌人の永田紅氏に選考していただいた。

## 平成29年度「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」公開フォーラム ～オリンピック・パラリンピック讃歌～

### ◆創作古典和歌披講

鳥羽高校披講研究部による同校優秀作品の披講(選者講評 冷泉貴実子氏)



鶯の初音の声に目覚むれば梅が香運ぶ窓の朝風	高木章弘
大空に霞たなびくあけぼのに窓に入り来る深き梅が香	春名進佑
梅が香に鳴く声高く鶯の運ぶ朝風春のおとづれ	小田 愛
くれなるの梅の初花ほほ笑みて霞の奥に匂ひ尋ぬる	瑜伽日和
春告げてほのかに匂ふ窓の外目覚めて見ればほほ笑む白梅	竹中悠馬

### ◆創作現代短歌発表

府内の高校・特別支援学校(高等部)生徒の優秀作品発表及び表彰(選者講評 永田紅氏)



◆最優秀賞(一首)	
選ばれたライバルを応援することは技術の上達よりも難しい	山田若奈(鳥羽高校)
◆優秀賞(四首)	
君めがけまっすぐ走り寄れたなら近くて遠い応援席から	宮村りさ(南陽高校)
音楽は戦う前は聞こえるが始まってからは消えてしまう	鈴木萌友(嵯峨野高校)
ルールとかよくわからない僕だけど君の熱意は僕でもわかる	竹本 涼(北嵯峨高校)
ひかえ室部員を励ます部長がバスの中一人窓を見つめてた	原口祐貴(鳥羽高校)

### ◆トークショー



齋藤  
里香氏

2008年北京オリンピック ウェイトリフティング女子69kg級6位。世界選手権出場6回。全日本選手権4連覇を含む6度の優勝。日本アンチ・ドーピング機構アスリート委員、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アスリート委員として活躍している。

櫻井  
杏理氏

高校卒業まで陸上に励むなど、スポーツが好きだったということもあり車いすフェンシングと出会い、競技を始めて半年でナショナルチーム入り。2017ワールドカップ ハンガリー大会エペ2位。平成28年車いすフェンシング日本選手権大会優勝。2020年東京パラリンピックでの活躍が期待されている。

## ◆ 講師として招いたトップアスリート、スポーツ指導者等 ※敬称略 ◆

朝原宣治(陸上競技 オリンピアン)、池端花奈恵(フェンシング オリンピアン)、上山友裕(アーチェリー パラリンピアン)、右代啓祐(陸上競技 オリンピアン)、江上いずみ(筑波大学・大学院客員教授)、大島祐哉(卓球 日本代表)、近江望(青年海外協力隊経験者)、片岡正教(日本ボッチャ協会事務局長)、金村祐美子(カーン オリンピアン)、神鳥基代子(NPO 法人京都でこいランド)、寒川進(陸上競技 パラリンピアン)、木谷真紀子(同志社大学准教授)、木村祐子(帝塚山大学教授)、KYOTO UPS(車いすバスケットボールチーム)、小島則子(射撃 日本代表)、小林千紗(シンクロナイズドスイミング オリンピアン)、佐久間和彦(陸上競技指導者)、佐藤弘樹(エフエム京都パーソナリティ)、佐藤光浩(陸上競技 オリンピアン)、関口久志(京都教育大学教授)、高瀬慧(陸上競技 オリンピアン)、竹田正樹(同志社大学教授)、寺田真紀(ジュエルゲード国際高校教員)、中村展山(華道家)、中村仁美(華道家)、菅井翔太(水球 オリンピアン)、比護信子(陸上競技 日本代表)、堀川謙一(プロボクシング)、堀越信司(陸上競技 パラリンピアン)、松山博明(大阪成蹊大学准教授)、三村和人(レスリング 指導者)、安井一彦(車いすフェンシング 日本代表)、山口有希(陸上競技 オリンピアン)、山田秋親(プロ野球 オリンピアン)、山田拓朗(水泳・競泳 パラリンピアン)、山本英嗣(車いすバスケットボールチーム[KYOTO UPS]代表)、LAKE SHIGA(車いすバスケットボールチーム)